

保育の仕事に関する  
意識調査報告書

## 1. 調査の概要について

### (1) 調査の目的

現任保育士の就職継続支援策の検討や、潜在保育士※に対する就職支援事業に活用していくことを目的として、保育士の仕事に関する意識調査を実施した。

※「潜在保育士」…保育士登録を行っていないながら現在保育士として働いていない方

### (2) 調査の対象

県内保育士登録者(令和元年9月末時点)のうち、令和元年中に 60 歳以上になる方を除いた **58,709 名**

### (3) 調査期間

令和元年11月20日～令和2年3月31日

### (4) 調査方法

郵送配付、郵送回収

### (5) 回収状況(令和2年3月31日)

- ①送付数：58,709通
- ②返戻数：12,846通
- ③回収数：10,432通
- ④回収率：22.8% {③/(①-②)}

### (6) 報告実施内容

令和2年3月31日で回収した10,432通のアンケートを集計した。

### (7) 調査項目(アンケート様式については、別添のとおり)

- ・調査回答者のプロフィール
- ・保育士経験について
- ・現任保育士(現在保育士として働いている方)の実態について
- ・過去保育士・保育士就業未経験者(現在保育士として働いていない方)の実態について
- ・ちば保育士・保育所支援センターへの名簿情報提供の可否

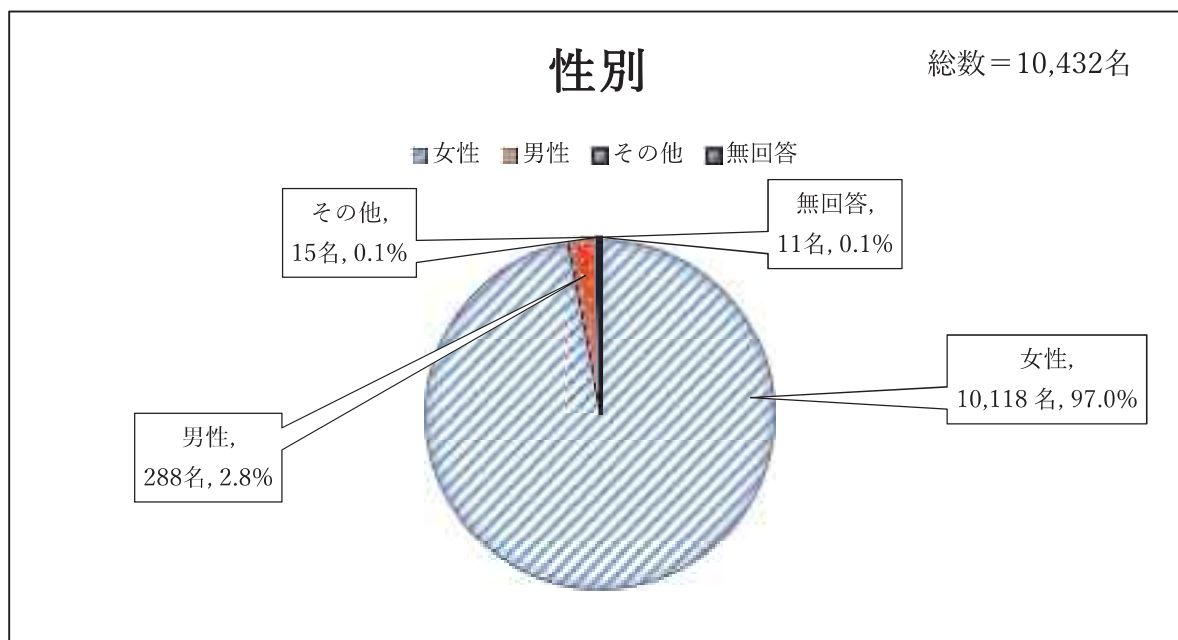


千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」

## 2. 調査回答者のプロフィール

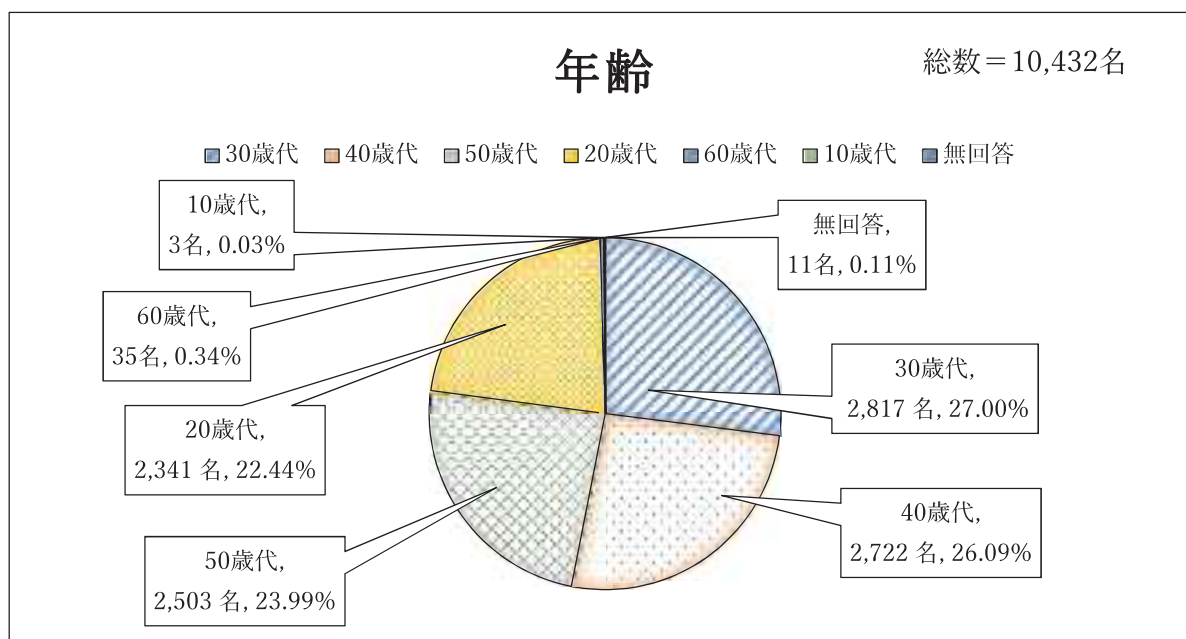
### (1) 性別

回答者の性別は、「女性」が97.0%を占める。



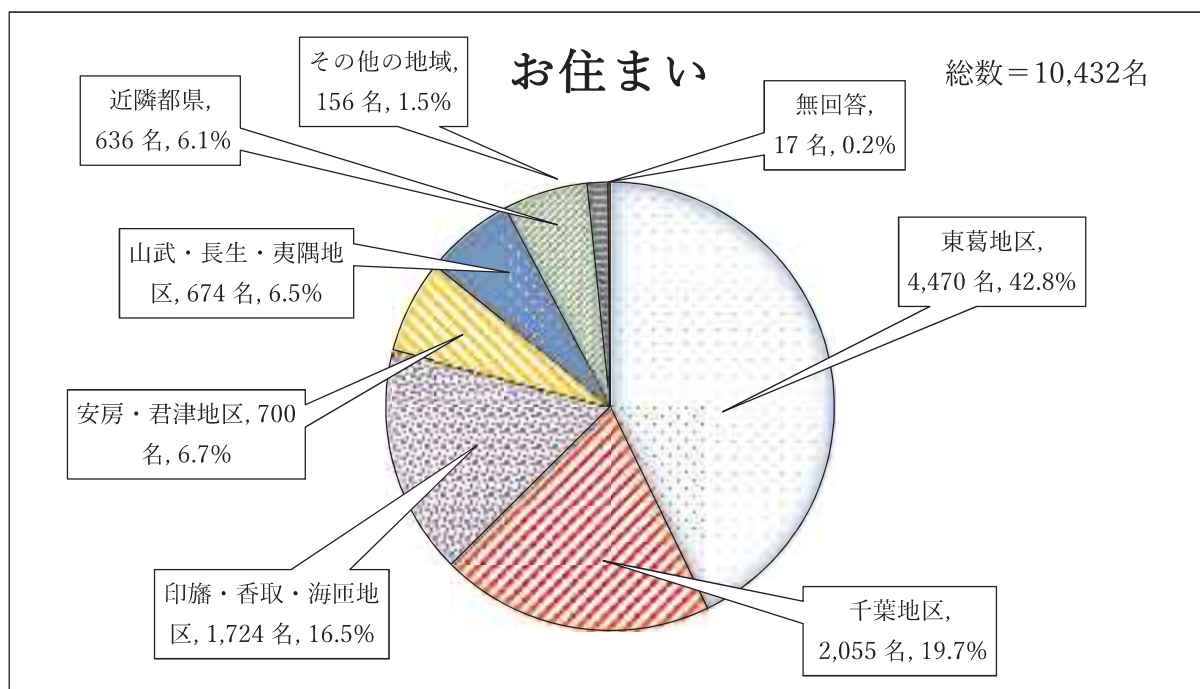
### (2) 年齢

回答者の年齢は、「20歳代」～「50歳代」の各年代別の構成比が、約23%から27%であり、ほぼ1/4ずつを占める。



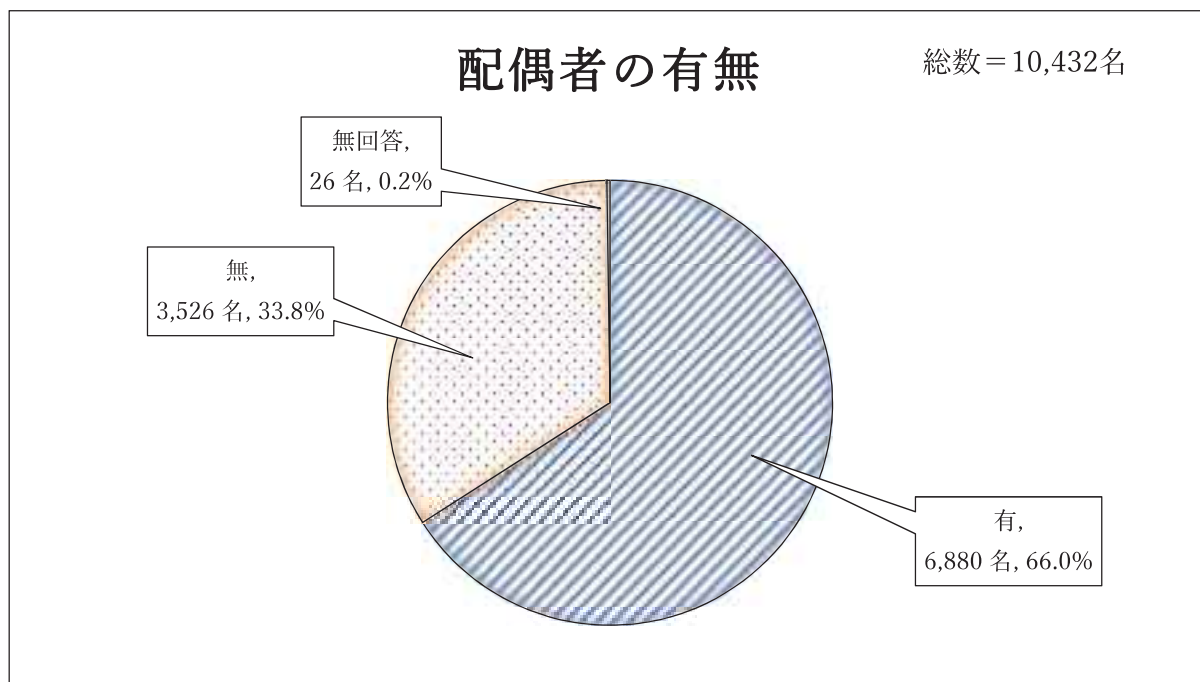
### (3)居住地

回答者の居住地は、「千葉県内」に住んでいる方が92.2%と大多数を占める。  
千葉県内の分布をみると千葉地区・東葛地区の両者で6割を超える。



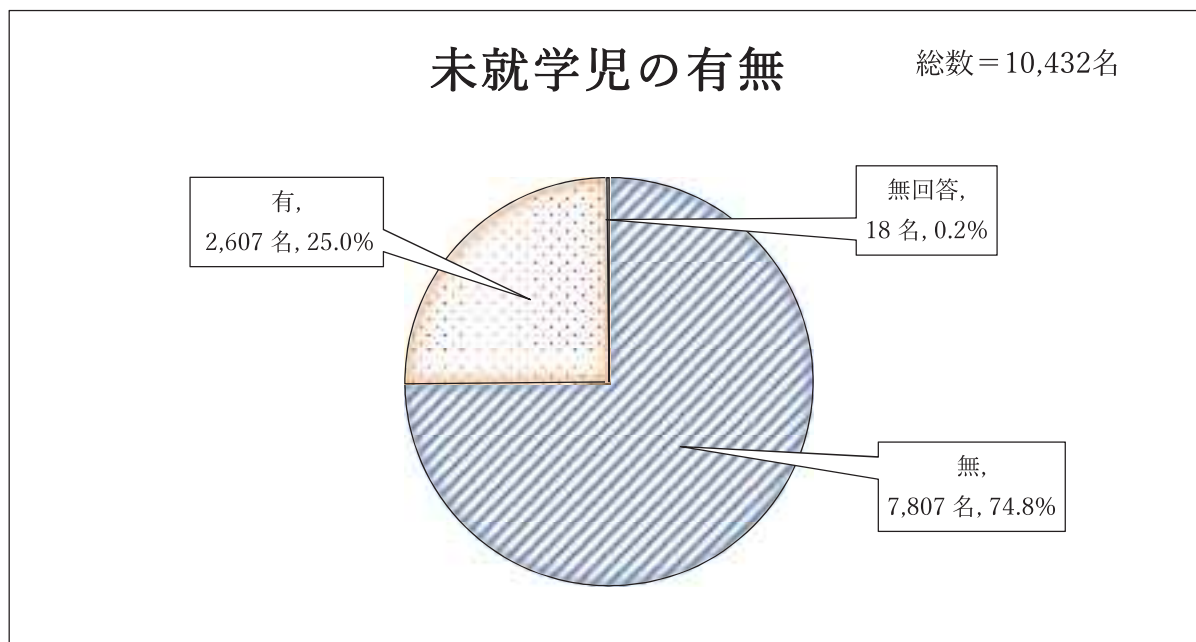
### (4)配偶者の有無

回答者のうち、配偶者有りが66.0%とおよそ3分の2を占める。



### (5) 未就学児の有無

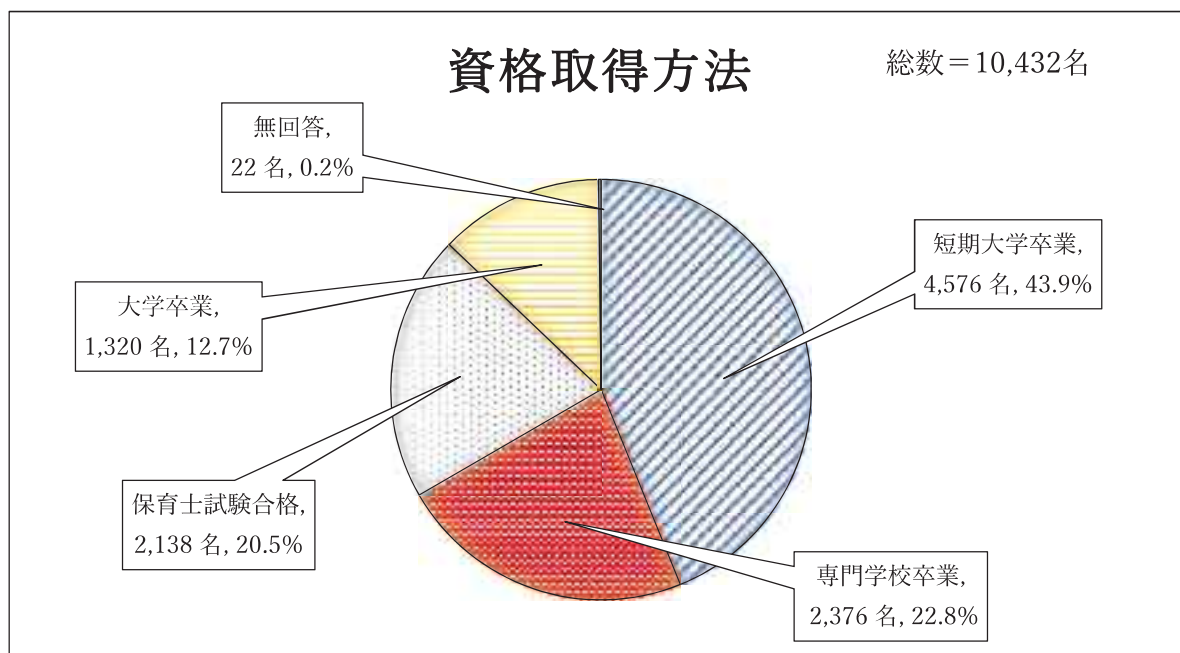
回答者のうち、未就学児無しが74.8%とほぼ4分の3を占める。



### (6) 資格取得の方法

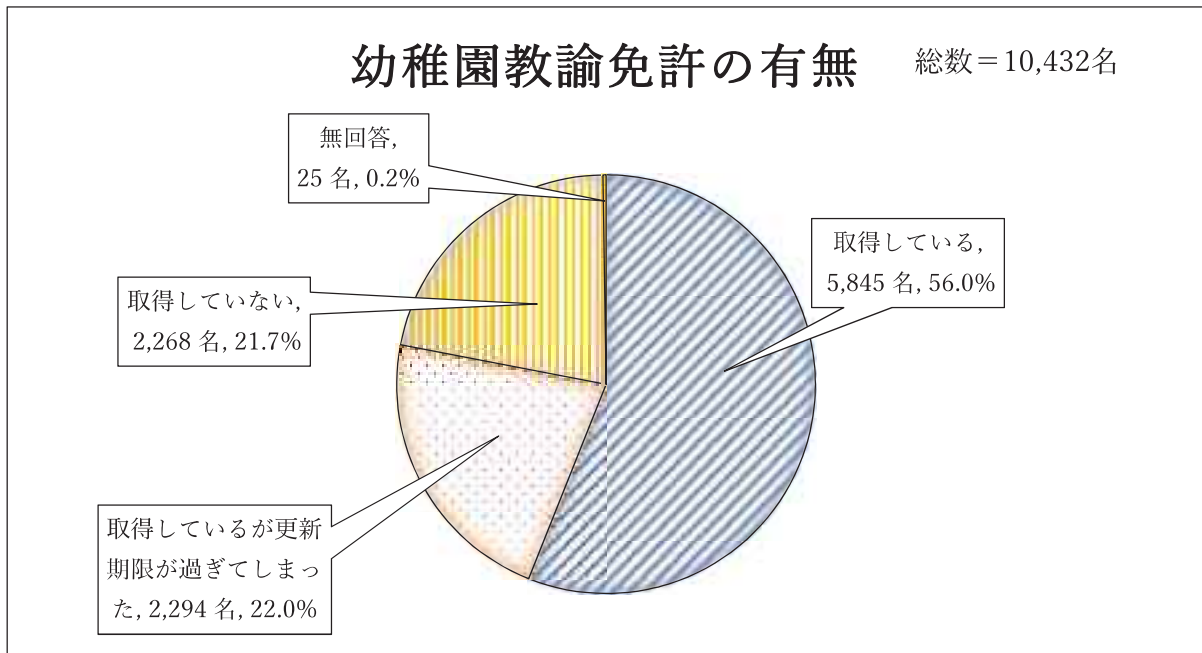
回答者の資格取得の方法としては、保育士試験合格者が20.5%なのに対して養成施設(大学・短大・専門学校)の卒業者が79.4%を占め養成施設卒業者が大多数である。

また、養成施設卒業者のうち、43.9%が短大卒業者が最も多い。



(7) 幼稚園教諭免許について

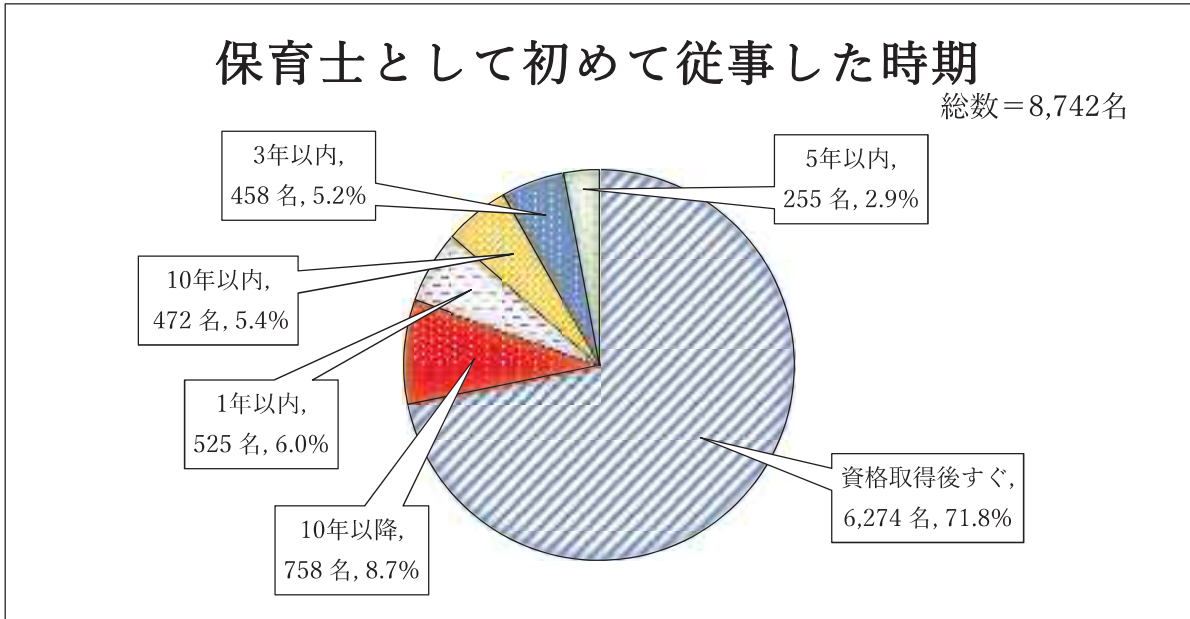
回答者のうち、56.0%は幼稚園教諭の免許を併せ持ち、更新時期を過ぎてしまった(22.0%)を含めると幼稚園免許の保有率は78.0%に達する。



### 3. 保育士経験について(保育士として従事している・従事していた方)

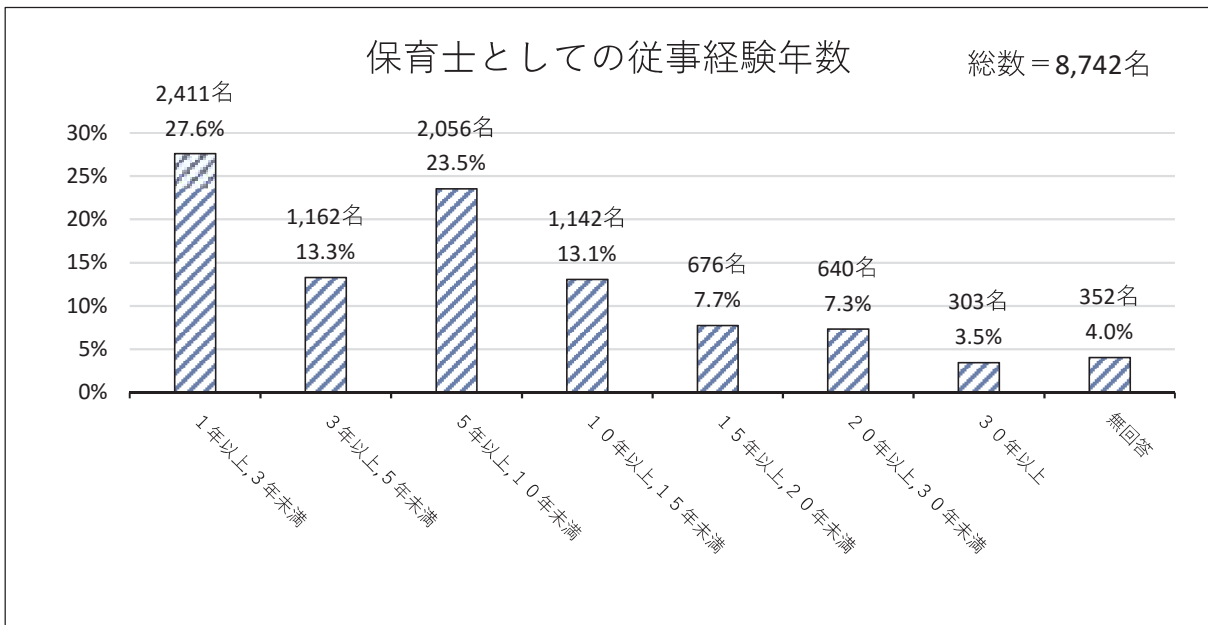
#### (1) 資格取得後、初めて保育士として勤務するまでの年数

回答者10,432名のうち、8,742名(83.8%)が保育士として従事した経験を持っており、そのうち6,274名(71.8%)が資格取得後すぐに保育士として勤務を始めている。



#### (2) 保育士としての従事経験年数

「3年未満」の経験年数を持っているが最も多く、27.6%であった。次に多いのが「5年以上10年未満」で23.5%を占める。

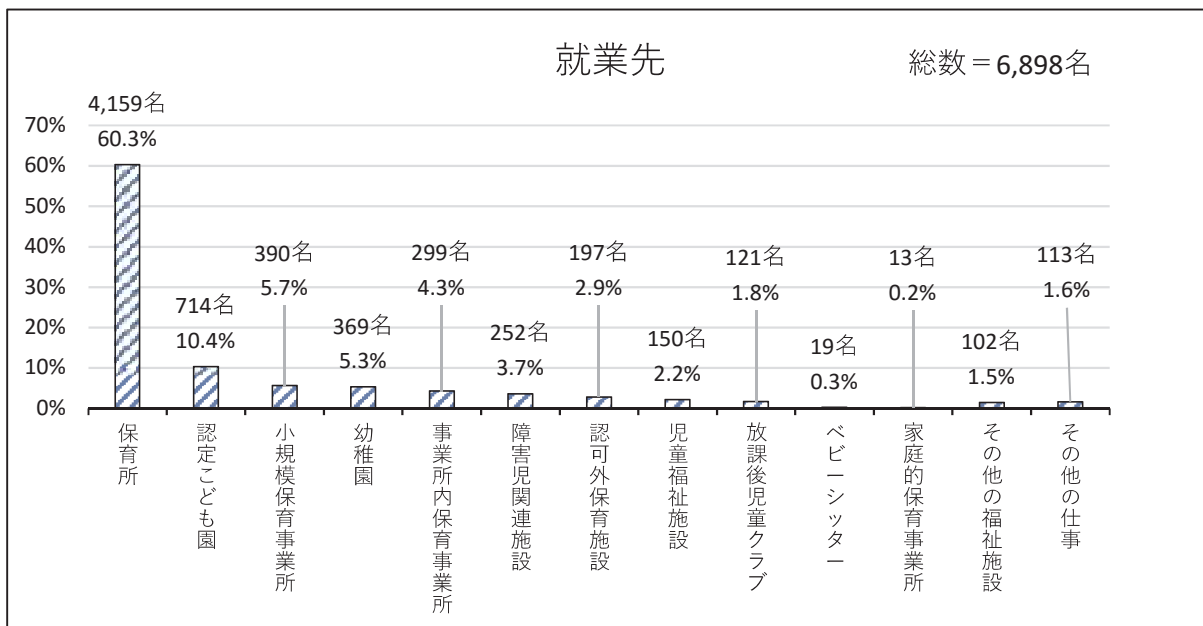


## 4. 現任保育士の実態について

(現在保育士として従事している方への質問)

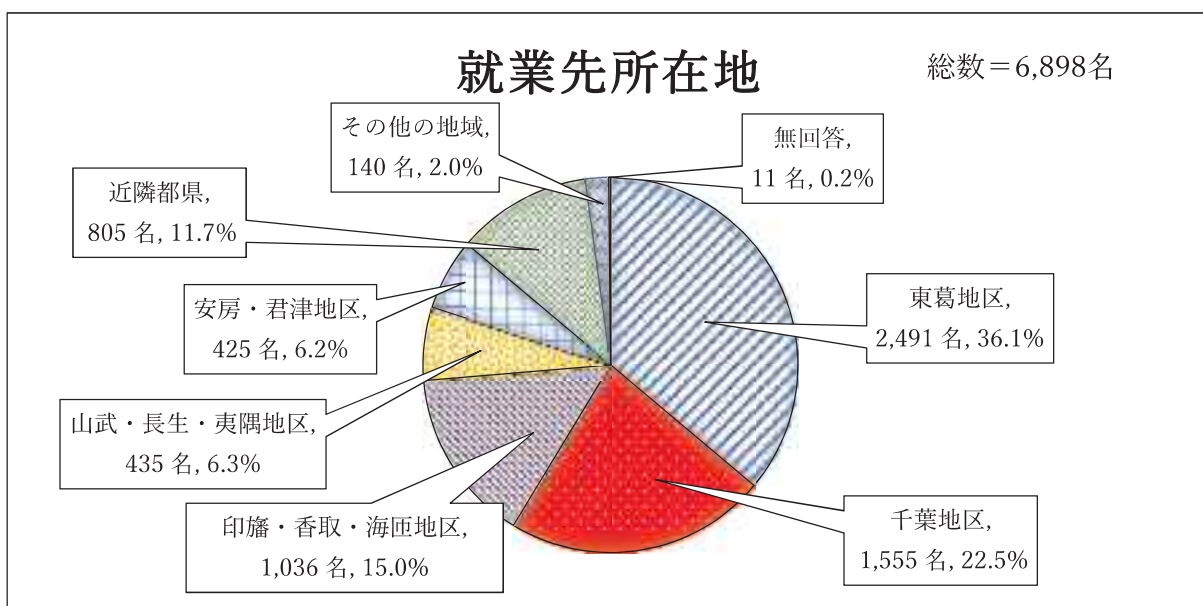
### (1) 就業先

現在、保育士として働いている6,898名の就業先としては、「保育所」が60.3%を占める。次いで、認定こども園が10.4%となっている。



### (2) 就業先所在地

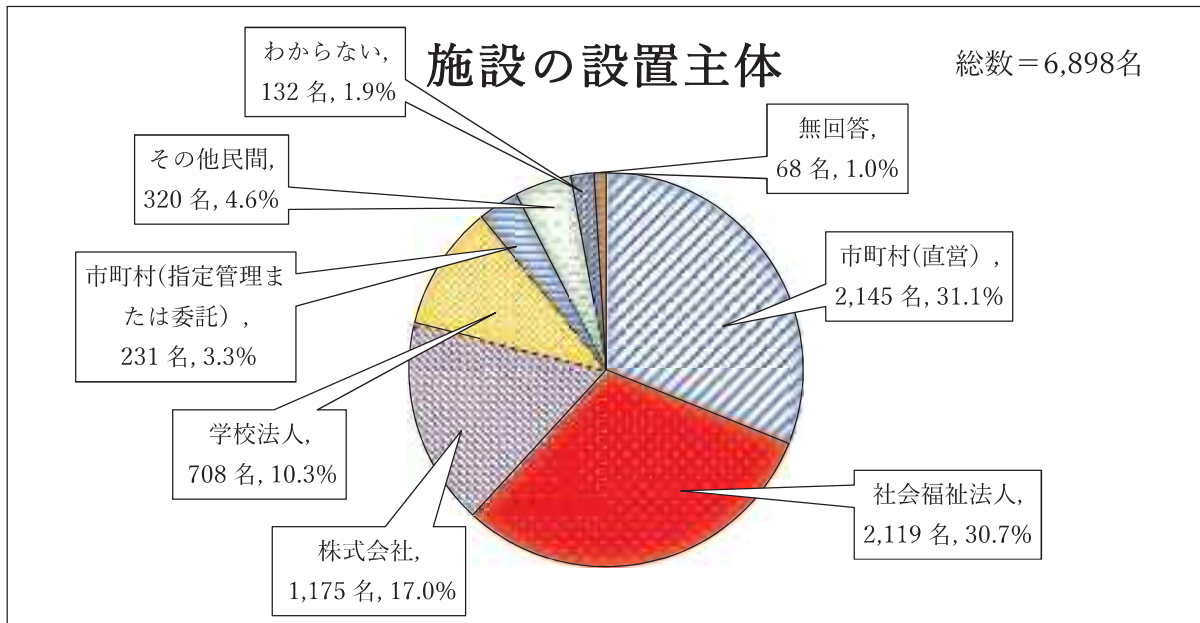
千葉県内で保育士として従事しているが86.1%と大多数を占めている。





### (3) 就業先の設置主体

従業施設の主体別内訳を見ると、社会福祉法人と市町村(直営)が30%を超える。続いて株式会社が3番目に多く17%を占める。



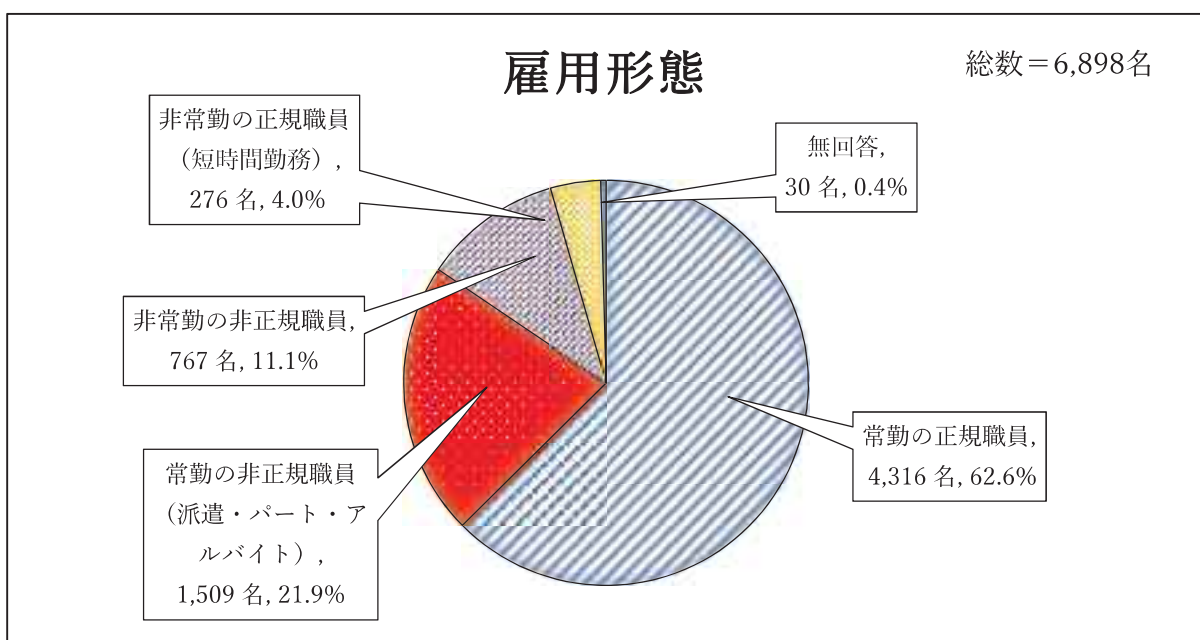
その他抜粋： 医療法人、有限会社、独立行政法人、宗教法人、特定非営利活動法人、等

### (4) 雇用形態

正規職員がおよそ3分の2、非正規職員がおよそ3分の1を占める。

正規職員の常勤・非常勤の分布をみると大多数は常勤(84.5%)。

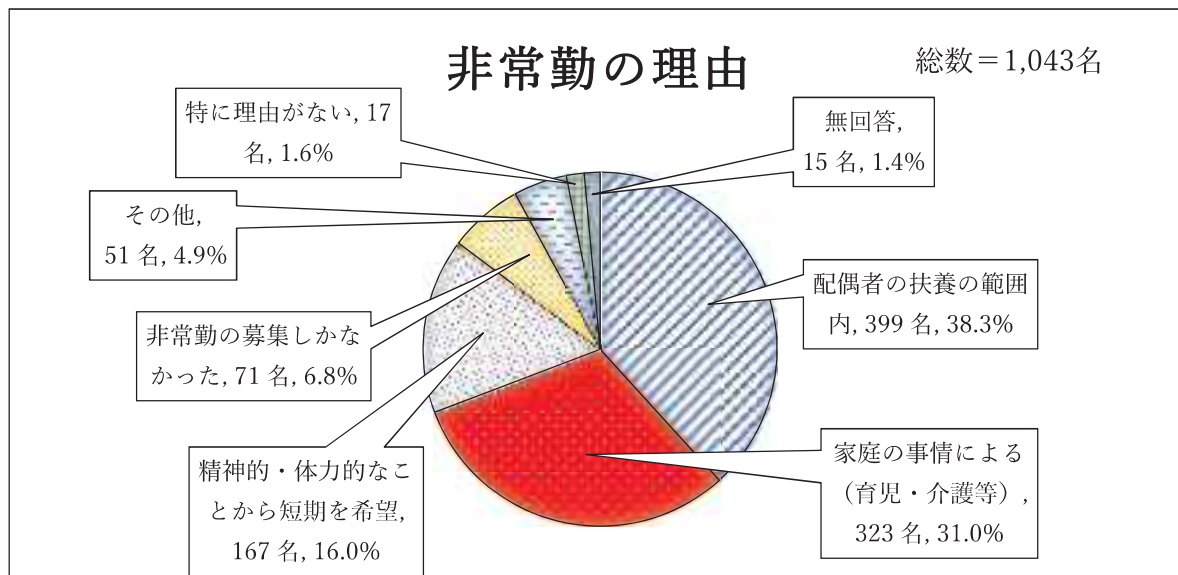
一方、非正規職員の分布は、常勤が3分の2、非常勤が3分の1を占める。



### (5) 非常勤の理由

「扶養の範囲内」との理由が最も多く(38.3%)、次に「家庭の事情による」が続く(31.0%)。

精神的、体力的な理由で非常勤を選択する方も16.0%を占める。



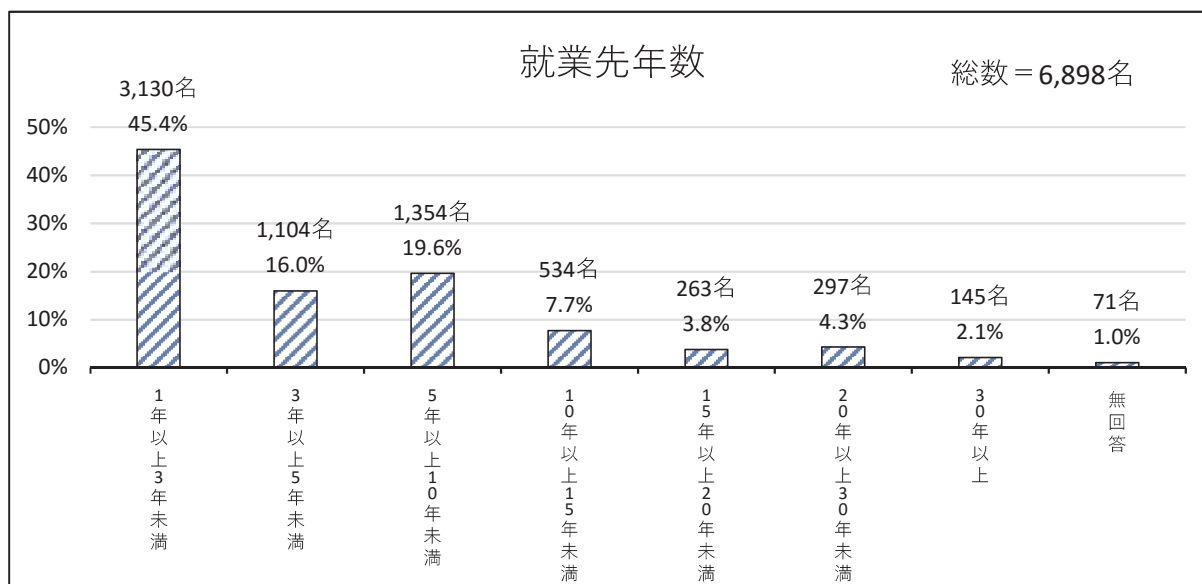
### その他抜粋

- \* 他に仕事がある、ダブルワークのため
- \* 他にやりたいことがある、公務員試験合格を目指している(勉強のため)
- \* ブランクがあり、自信がない、不安。自分の子育てを優先したい。

### (6) 勤続年数

現在の就業先での勤続年数を見ると3年未満が最も多く、45.4%を占める。

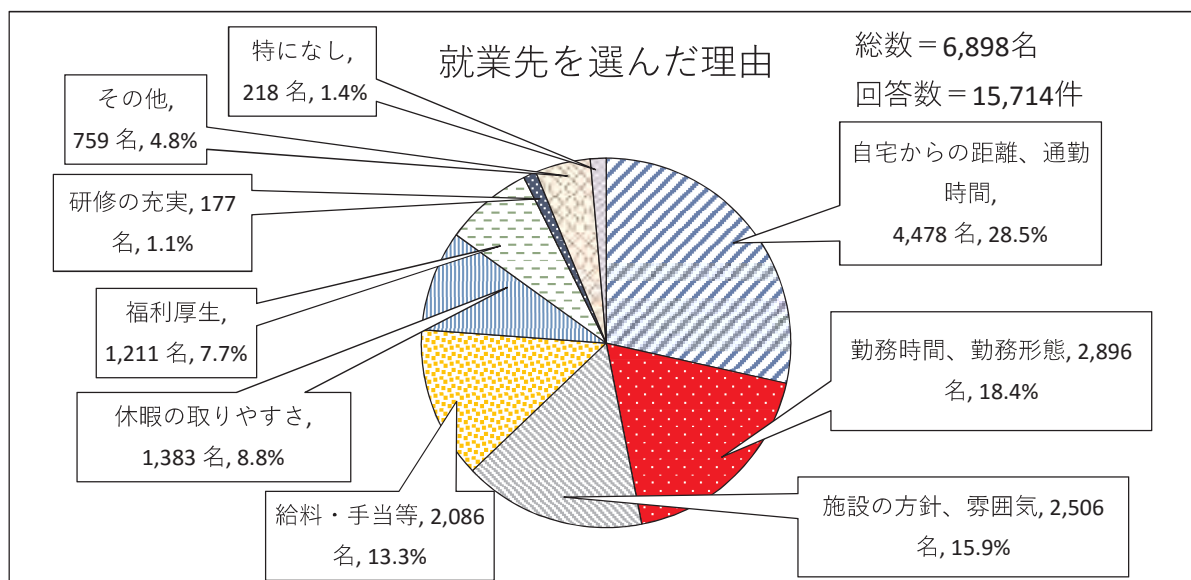
続いて5年以上10年未満、3年以上5年未満が多く、10年未満の合計は80%を超える。



(7) 就業の理由 (3つまでの複数回答)

自宅からの距離・通勤時間を理由にする方が最も多く28.5%。

勤務時間・勤務形態が18.4%、施設の方針・雰囲気は15.9%と続く。

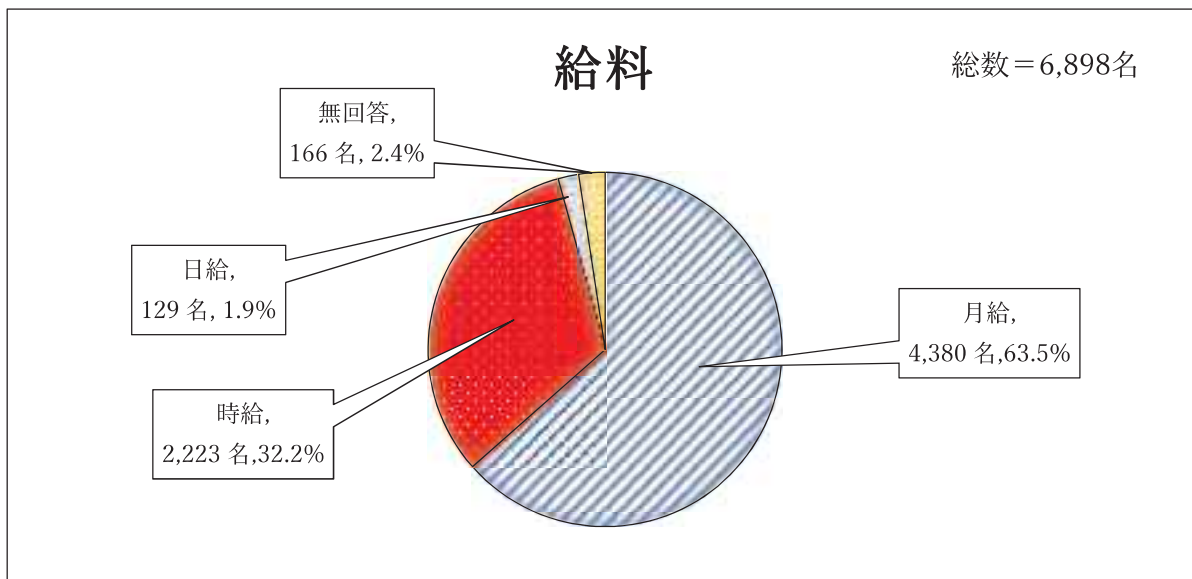


その他抜粋

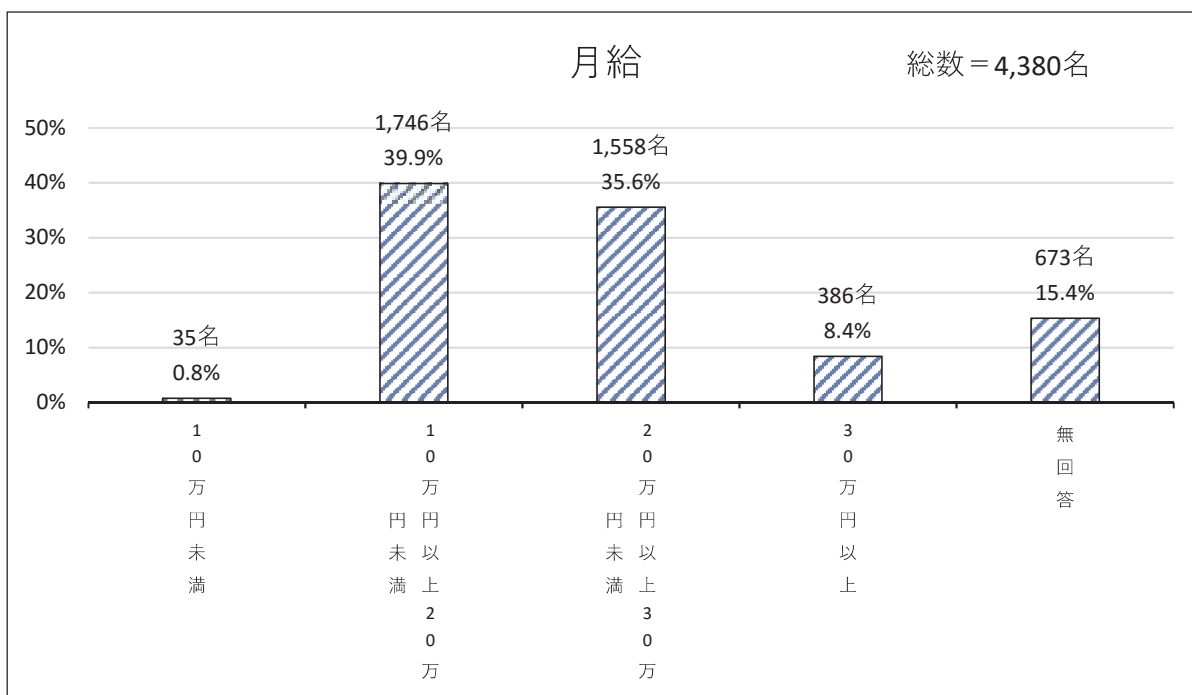
- \* 知人、学校、園長、友人、恩師等からの紹介
- \* アルバイト・パートで働いていたので
- \* 公立だから、公務員になれるので
- \* やりたい仕事だった、やりがいを感じたので
- \* たまたま募集があったので、そこしか受からなかった

(8) 給料

月給制が63.5%とおよそ3分の2を占める。  
次に時給制が続き(32.2%)、両者で95.7%に達する

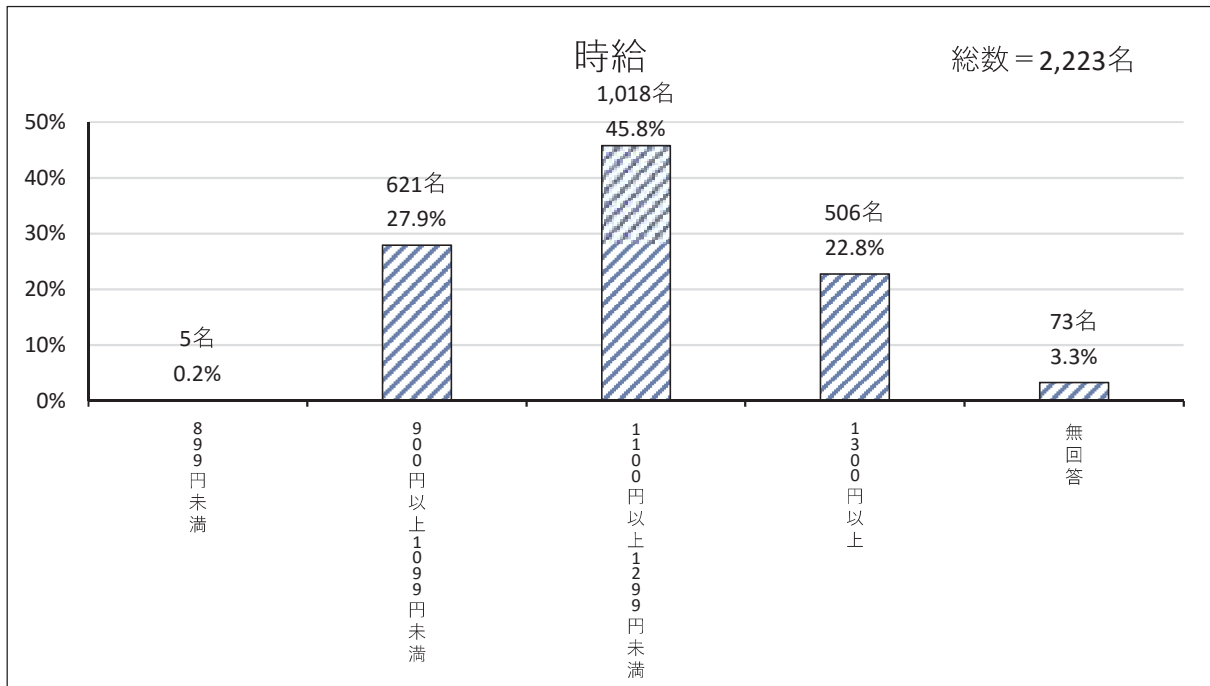


① 月給



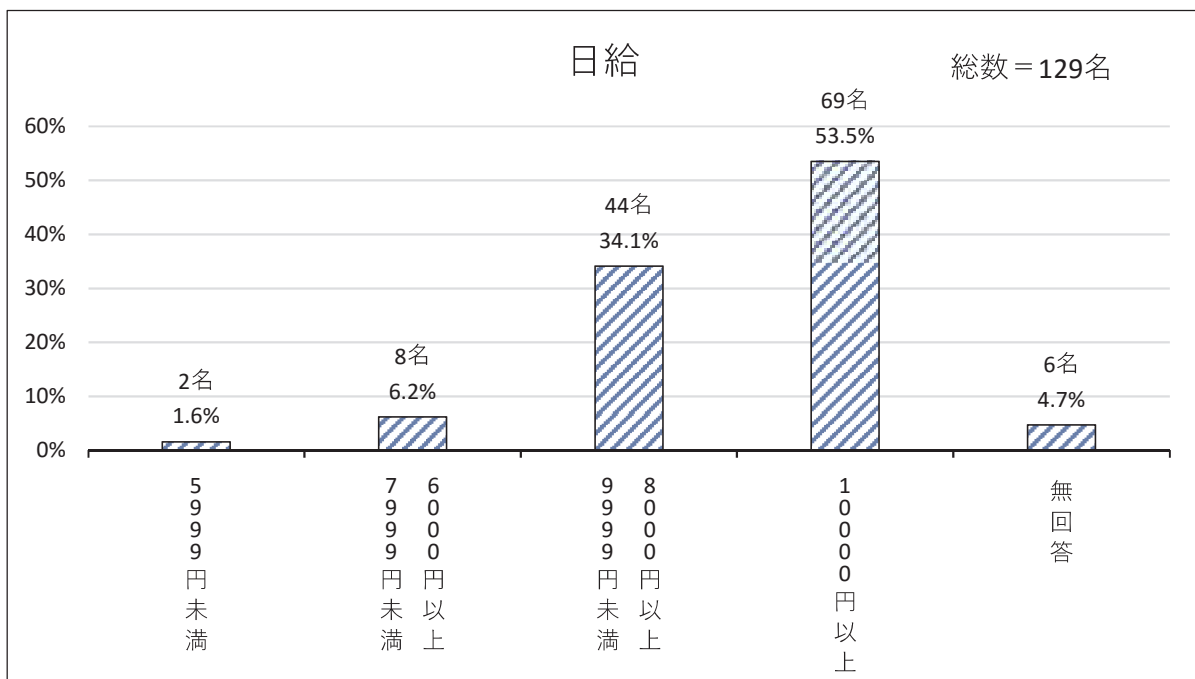
10万円以上20万円未満が最も多く39.9%を占める。  
二番目に多いのが20万円以上30万円未満で35.6%。  
無回答が15.4%を占め、ほかの質問項目と比べて多い。

② 時給



1,100円以上1,299円未満が最も多く、45.8%と半分近くを占める。

③ 日給



10,000円以上が最も多くを占める(53.5%)

8,000円以上9,999円未満(34.1%)を含めると、87.6%を占める。